

令和 7 年 度 事 業 報 告

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団

令和7年度事業報告

1. 事業の概要

令和7年度において、市内の緑化の推進と市民の健康増進に寄与することを目的として、定款に定められた事業を事業計画に基づき実施し、公園緑地及び公園内運動施設の利用者が安全で安心して利用できるよう努めた。

また、自主事業として、各種ボランティアへの支援、稲城市立稲城第一小学校等への総合学習への協力事業、健康増進事業等の各種事業を実施した。

以下、公益財団法人定款に定められた事業項目に基づき、令和7年度の事業概要について報告する。

(1) 緑と自然環境のふれあい事業

- ① 「環境リサイクル事業」として、落ち葉で腐葉土を作り、花木植栽に活用しつつ、市内のアダプト団体等への無償提供及び園芸愛好家への販売。伐採樹木を薪としてアウトドア愛好家等に販売。また、剪定枝をチップ化し、園路、遊具周り、広場等へ泥の飛散防止やクッション材として敷き均し、転倒・転落時の怪我の軽減等を図った。
- ② 「雑木林の再生事業」として、林の下草刈り、間伐等を行い、萌芽更新を図った。
- ③ 「草花等による緑化の推進」として、草花等を育て、総合体育館周辺及び若葉台公園等各種施設に植栽した。
- ④ 「緑化推進等に関するボランティア活動支援」では、公園緑化や清掃に携わっている市民ボランティアの活動を補助し、物資の提供などを通して支援した。
- ⑤ 「ホタル育成の環境保全事業」では、上谷戸親水公園の園路の補修を行った。
- ⑥ 「公共空地緑化推進保全事業」として、市民に身近に緑を感じてもらうため、公園、市役所、市立病院などの公共空地等に草花を植栽し、年間を通して市内緑化に努めた。
- ⑦ 「緑の相談事業」では、樹木、草花に関する相談に対応した。
- ⑧ 「緑の講座及び観察会事業」として「キンラン観察会」、「初夏・秋の園芸講座」、「正月飾り園芸講座」「ポールウォーキング体験会」を実施した。
- ⑨ 「写真展の実施」では、野鳥等の写真を若葉台公園管理棟にて展示した。
- ⑩ 「情報発信事業」では、財団情報紙「さわやか」で、財団の事業を紹介し、PRを図るとともに、緑化及び健康に関する情報提供や各種事業への参加募集に努めた。また、公園利用のマナー啓発を行った。
- ⑪ 「学校との連携」では、市内小学校の授業「みんなのふるさと三沢川親水公園」のゲストティーチャーを派遣した。また、吉方公園では「落葉ひろい」を実施し、校外学習授業に協力した。

(2) 稲城市内の緑化推進事業

- ① 「公園利用マナーの向上」として、財団職員が巡回時に公園利用者に対して声掛けや看板設置などの啓発を行った。
- ② 『My City Report』を活用して、市民等から通報して頂いた情報を基に、速やかに現地確認を行い、修繕などの対応を実施した。
- ③ 「公園緑地の清掃・環境整備」として、公園緑地の清掃、除草、刈り込み、巡回及び園内設備補修などの維持管理を実施した。また、「いなぎ里山レンジャー」の育成・活動支援を行った。
- ④ 「公園内の遊具・施設利用のための安全点検及び補修等による維持管理」として、職員による日常点検及び専門業者による遊具点検を実施し、補修が必要な遊具の修繕を実施した。

(3) 公園緑地及び公園内運動施設の管理運営事業

- ① 「啓発資料提供事業」として、若葉台公園管理棟に自然・緑化・樹木等の啓発資料を配架し、閲覧に供した。
- ② 「健康増進事業」として、公園や園路を整備するとともに、公園を活用した健康増進講座を開催した。
- ③ 「運動施設の管理運営事業」では、松葉公園内松葉ふれあい館において、高齢者向けのトレーニング室の運営を行った。
- ④ 公園利用者の利便向上及び障害者の就労支援を図るため、若葉台公園管理棟において稲城市障害者就労継続支援 B 型事業所連絡会、通称『B ネット』が製造する菓子の陳列と販売の場所を提供した。

(4) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

公園利用者へのサービス向上の一環として、公園内に自動販売機を引続き設置。

2. 事業の実績報告

(1) 緑と自然環境のふれあい事業

① 環境リサイクル事業

(イ) 公園内の落ち葉を活用して腐葉土を作り資源の再利用と循環を図った。この腐葉土の活用にあたっては、緑化推進やボランティア活動における各植栽事業での利用や、財団事務所での通年販売を行った。また、伐採した樹木を薪として販売した。

(ロ) 農業者、家庭及び公園から出た剪定枝、計 111,340 kgを破砕機（タウンピーバー）でチップ化して、園路や公園遊具周辺などに敷き均して利用した。

② 雑木林の再生事業

(イ) 谷山緑地上平尾1号緑地内自然林の密集樹木を間伐し、萌芽更新を図った。

(ロ) ナラ枯れ対策については、引き続き、被害木調査を行い、市と連携を図り、樹木保護や被害木の伐採等を実施した。

③ 草花等による緑化の推進

コスモスの種を播き、公園内の緑化及び景観の向上を図った。

④ 緑化推進等に関するボランティア活動支援

総合体育館北側の育成地をボランティアの活動の場として提供した。

グリーンボランティア 自主事業	毎週水曜日・土曜日 9時～12時 情報交換・ 実技研修等 年2回 松葉公園、釜池公園の花苗植栽
--------------------	--

⑤ ホタル育成の環境保全事業

「上谷戸ホタルの会」によるホタル育成を支援するため、草刈り時期の配慮や、園路補修等の環境整備を行った。

⑥ 公共空地緑化推進保全事業

公園や文化センター、市立病院などの公共施設及び稲城駅前ロータリー等の公共空地に設置したフラワーポット及び花壇に各種の花苗を植栽し、市内の緑化推進に努めた。

フラワーポット設置

設置場所	箇所数	台数
公園・広場	4	31
中央文化センター・城山文化センター	2	11
交番・駐車場・教育相談所	6	11
南武線矢野口駅	1	2
稲城市立病院	1	19
合 計	14	74

⑦ 緑の相談事業

緑化の普及啓発を図るため植物の育成など市民の疑問に対して相談を受けた。

対応方法	実施日	会場	相談内容	相談件数
電話・窓口	通年	事務室・公園内	草花等の育て方等	4件

⑧ 緑の講座及び観察会事業

園芸等講習会及び観察会等については、キンラン観察会、初夏・秋の園芸講座、正月飾り園芸講座、ポールウォーキング講座の5講座を開催した。

回 数	実施日	会 場	内 容	参加者数
第 1 回	令和 7 年4月 19 日	稲 城 中 央 公 園	キンラン観察会	29名
第 2 回	令和 7 年6月 24 日	若葉台公園管理棟	初夏の園芸講座	10名
第 3 回	令和7年11月20日	総合体育館ミーティングルーム 1	秋の園芸講座	22名
第 4 回	令和7年12月23日	若葉台公園管理棟	正月飾り園芸講座	16名
第 5 回	令和8年 3 月 19 日	稲 城 中 央 公 園	ポールウォーキング体験会	11名

⑨ 写真展の実施

公園に生息する野鳥や公園風景等の写真展を若葉台公園管理棟において常時展示。

⑩ 情報発信事業

財団情報紙「さわやか」を年6回発行し、市内各世帯に配布した。この情報誌には財団事業の紹介や講座等参加者募集のPR、緑化や健康サポート情報の提供、公園利用マナー啓発などの記事を掲載した。

「さわやか」概要

規 模	A4 版 2 ページ 6 回「カラー」
発 行 部 数	16,000 部/ 1 号
配 布 方 法	新聞折り込み等による市内各世帯に配布
広 告 掲 載	年間協賛掲載（バナー広告） 業者数 5 企業

⑪ 学校との連携

6月に稲城第一小学校へのゲストティーチャーの派遣、11月には吉方公園において稲城第一小学校一年生への授業協力を行った。

(2) 稲城市内の緑化推進事業

① 公園利用マナーの向上

日常巡回時に、マナー啓発の呼びかけ及び看板を設置

② My City Report の活用

公園内の遊具・ベンチが壊れている、公園灯が点灯していない、倒木がある、蜂の巣がある等の情報をスマートフォン用のアプリケーション『My CityReport』を通して公園利用者から通報して頂き、迅速で的確な対応に生かした。

③ 公園緑地の清掃・環境整備

(イ)市内の公園緑地の維持管理を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう努めた。

(ロ) ボランティア 81 団体に腐葉土、花苗の提供、清掃後のゴミの収拾等を行い、活動を支援し、市民との協働による環境整備に努めた。

(ハ) いなぎ里山レンジャーの支援として、初級講習会（二期生）において、実地作業

体験の支援を行うとともに、一期生には稲城中央公園、城山公園、若葉台公園での自主的な活動を支援するため、相談・助言、機材・資材の提供などに努めた。

・公園数 138 箇所 維持管理面積 1,029,004.77 m²

件名	内容
公園維持管理業務	芝生地・低木地除草・植栽地の刈込み、樹木剪定等の手入れ
公園清掃業務	ゴミ、落ち葉を回収
若葉台公園でのコスモス等栽培	若葉台公園段々花壇においてコスモスを播種・栽培した。
トイレ清掃業務	28 箇所のトイレ清掃、トイレトイレットペーパー補充を週3回実施
公園巡回業務	施設の点検・補修等の実施
バーベキュー利用受付業務	若葉台公園・北緑地公園で、5～11 月分を受付（土日祝日が予約対象日）
ファインタワーの開放	5月GW期間後～10 月末日の日曜・祝日に実施（開放日数・利用者：32 日間・1,289 人利用）
公園等維持管理業務（委託分）	樹木剪定 草刈り作業を委託 88 件

・公園内施設修繕（外部発注分）62 件

・台風被害等による緊急対応 なし

・公園、緑地管理業務対応件数

修 繕 内 訳	件 数
遊 具 関 係	35
水周り関係	178
電 気 関 係	20
施 設 関 係	663
植 栽 関 係	1,175
そ の 他	3,331
合 計	5,402

※その他：一般ゴミ、不法投棄及び放置自転車の撤去、池の清掃、砂場の掘り返し、スズメバチの確認及び巣の撤去、カラスの巣の撤去、注意看板の設置等

④ 公園内の遊具・施設利用のための安全点検及び補修等による維持管理

市内公園 89 箇所、遊具数 347 基について、職員による日常点検の他、専門業者による遊具点検を実施した。公園遊具保守点検業務（専門業者）6～9月実施

（3）公園緑地及び公園内運動施設の管理運営事業

① 資料提供事業

当財団事務所及び若葉台公園管理棟において園芸・緑化関係の書籍資料の閲覧や貸出しを行い、緑化の普及啓発に努めた。

② 健康増進事業

公園や公園園路を利用したウォーキングやジョギングの環境を整備するとともに、公園を活用したポールウォーキング体験会を開催した。

③ 運動施設の管理運営事業

松葉公園内松葉ふれあい館の管理運営及び保守点検などを行い、施設利用者が安全で快適に利用できるよう努めた。

【業務内容】

- (イ) 建物及び設備の保守、点検管理業務
- (ロ) 施設の整備、点検、保守管理業務
- (ハ) 建物内の清掃、衛生管理業務
- (ニ) 施設の備品の保守点検管理及び修繕
- (ホ) 施設の利用受付及び総合案内、委託による運動指導
- (ヘ) 施設に係る統計事務
- (ト) その他、施設の管理及び施設の運営に必要な事務

管理施設利用状況等

松葉ふれあい館

(単位：人 %)

区 分		令和 7 年度	令和 6 年度	対前年度増減	
				人数	増減率 %
個人利用	大 人	2,278	2,287	-9	-0.4

④ 公園利用者の利便向上

公園利用者の利便向上及び障害者の就労支援とを合わせて図るため、若葉台公園管理棟において稲城市障害者就労継続支援 B 型事業所連絡会、通称『B ネット』が製造する菓子の陳列と販売の場所を提供した。

(4) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

公園利用者へのサービス向上の一環として、公園内に自動販売機を設置し、収益事業を実施した。事業による収益は公園緑地の維持管理に還元した。

自動販売機設置個所

設置場所	台数	販売内容
中央公園西口	1 台	飲料
中央公園北口	1 台	飲料
北緑地公園遊具前トイレ脇	2 台	飲料
北緑地公園テニスコートトイレ脇	2 台	飲料
北緑地公園多目的広場前	1 台	アイスクリーム
北緑地公園多目的遊具トイレ前	1 台	アイスクリーム
大丸公園トイレ横	1 台	飲料
大丸公園トイレ横	1 台	アイスクリーム
平尾近隣公園	1 台	飲料
平尾近隣公園遊具前	1 台	アイスクリーム
城山公園テニスコート横トイレ前	1 台	飲料
城山公園テニスコート横トイレ前	1 台	アイスクリーム
若葉台公園BBQエリアトイレ前	1 台	飲料
若葉台公園管理棟前	1 台	アイスクリーム
若葉台公園管理棟前	2 台	飲料
稲城中央公園野球場トイレ前	1 台	飲料
稲城中央公園野球場横	1 台	アイスクリーム
ひつじさん公園トイレ前	1 台	飲料
淡雪公園トイレ横	1 台	飲料
本郷公園トイレ横	1 台	飲料
大丸第 2 公園トイレ横	1 台	飲料
うさぎさん公園トイレ横	1 台	飲料
合 計	25 台	

3. 庶務事項

(1) 会議等

① 理事会審議事項

開催日等	議案番号	議案名	審議結果
第 1 回定期理事会 令和 7 年 5 月 19 日	第 1 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和 6 年度事業報告について	原案了承
	第 2 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和 6 年度収支決算について	原案了承
	第 3 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和 7 年度第 1 回定期評議員会の招集の決定について	原案了承
第 1 回臨時理事会 令和 7 年 11 月 19 日	第 4 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団職員の給与規程の一部を改正する規程	原案了承
第 2 回定期理事会 令和 8 年 2 月 18 日	第 5 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和 8 年度事業計画について	原案了承
	第 6 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和 8 年度収支予算について	原案了承
	第 7 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団常務理事の選任について	原案了承
	第 8 号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団定期評議員会の招集の決定について	原案了承

② 評議員会審議事項

開催日等	議案番号	議案名	審議結果
第1回定期評議員会 令和7年6月5日	第1号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和6年度事業報告について	原案了承
	第2号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和6年度収支決算について	原案了承
第2回定期評議員会 令和8年3月6日	第3号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和8年度事業計画の報告について	原案了承
	第4号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団令和8年度収支予算の報告について	原案了承
	第5号議案	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団理事の選任について	原案了承

③ 監査実施事項

監査実施日 令和8年5月12日
 会 場 稲城市総合体育館 ミーティングルーム1
 内 容 令和7年度における会計及び業務監査

(2) 役員等の状況

① 理事 5名

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏名	備考
理事長	石田 光広	稲城市副市長
常務理事	村山 雅俊	財団事務局長
理事	吉村 桂太郎	学識経験 駒沢学園事務局長
理事	増田 径子	学識経験 弁護士
理事	高野 達男	学識経験

② 監事 1名

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏名	備考
監事	岩藤 真実	学識経験 税理士

③ 評議員 6名

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏名	備考
評議員	栗井 洋子	学識経験
評議員	伊勢川 岩根	学識経験
評議員	関川 雅代	学識経験 社会保険労務士
評議員	吉田 篤人	学識経験
評議員	島崎 雅明	学識経験
評議員	横田 比佐夫	学識経験

④ 役員の辞任・就任関係

役職名	辞任・就任	氏名	辞任・就任年月日	備考
理事	辞任	村山 雅俊	令和8年3月31日	
監事	なし			
評議員	なし			

⑤ 事務局職員

(令和8年3月31日現在)

職名	氏名	嘱託・固有	備考
事務局長	村山 雅俊	嘱託職員	
事業総務課長 (公園管理係長兼務)	伊東 健	稲城市職員	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで 稲城市より研修派遣
庶務係長	宗村 聡	固有職員	
公園管理係	芝辻 清太郎	嘱託職員	
公園管理係	佐藤 正彦	嘱託職員	
公園管理係	大工 勝	嘱託職員	
公園管理係	宮川 祐之	嘱託職員	
公園施設係	角田 美香	嘱託職員	
庶務係	角田 美幸	嘱託職員	
庶務係	瀬川 治子	嘱託職員	

令和7年度

収支決算書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団

収 支 計 算 書

令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	207,000	1,075,000	△868,000	
基本財産運用収入計	207,000	1,075,000	△868,000	
(2) 事業収入				
緑化推進事業収入	380,000	210,560	169,440	
普及啓発事業収入	325,000	254,500	70,500	
受託事業収入	314,732,000	314,368,121	363,879	
収益事業収入	5,520,000	6,813,175	△1,293,175	
事業収入計	320,957,000	321,646,356	△689,356	
(3) 寄附金収入				
寄附金収入	1,000	0	1,000	
寄附金収入計	1,000	0	1,000	
(4) 雑収入				
雑収入	0	308,023	△308,023	
雑収入計	0	308,023	△308,023	
事業活動収入計	321,165,000	323,029,379	△1,864,379	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
給料手当支出	22,668,000	31,123,086	△8,455,086	
福利厚生費支出	4,838,000	5,758,877	△920,877	
臨時雇賃金支出	14,066,000	9,740,476	4,325,524	
通信運搬費支出	13,000	0	13,000	
消耗器具備品費支出	219,000	132,000	87,000	
消耗品費支出	4,904,000	2,880,074	2,023,926	
光熱水料費支出	21,314,000	18,171,450	3,142,550	
印刷製本費支出	555,000	696,184	△141,184	
修繕費支出	10,000,000	8,755,846	1,244,154	
燃料費支出	911,000	550,283	360,717	
賃借料支出	3,517,000	3,597,529	△80,529	
諸謝金支出	120,000	59,650	60,350	
保険料支出	339,000	364,160	△25,160	
委託費支出	205,333,000	219,555,270	△14,222,270	
雑支出	3,000	53,940	△50,940	
租税公課支出	4,403,000	4,564,200	△161,200	
事業費支出合計	293,203,000	306,003,025	△12,800,025	
(2) 管理費支出				
役員報酬支出	229,000	176,000	53,000	
給料手当支出	14,375,000	6,017,008	8,357,992	
退職給付費用支出	327,000	231,370	95,630	
福利厚生費支出	1,737,000	691,412	1,045,588	
臨時雇賃金支出	891,000	1,014,180	△123,180	
旅費交通費支出	32,000	9,524	22,476	
交際費支出	15,000	5,000	10,000	
通信運搬費支出	827,000	497,823	329,177	
消耗品費支出	450,000	555,805	△105,805	
印刷製本費支出	22,000	0	22,000	
賃借料支出	3,470,000	3,203,902	266,098	
保険料支出	82,000	81,100	900	
租税公課支出	1,923,000	1,210,800	712,200	
支払負担金支出	295,000	259,154	35,846	
委託費支出	779,000	529,760	249,240	
雑支出	349,000	338,033	10,967	
管理費支出合計	25,803,000	14,820,871	10,982,129	

収 支 計 算 書

令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動支出計	319,006,000	320,823,896	△1,817,896	
法人税等の支払額	0	664,600	△664,600	
事業活動収支差額	2,159,000	1,540,883	618,117	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	0	—	0	
当期収支差額	2,159,000	1,540,883	618,117	
前期繰越収支差額	0	47,439,622	△47,439,622	
次期繰越収支差額	2,159,000	48,980,505	△46,821,505	

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産利息収入	1,075,000	177,547	897,453
基本財産運用益計	1,075,000	177,547	897,453
事業収益			
緑化推進事業収入	210,560	318,125	△107,565
普及啓発事業収入	254,500	340,000	△85,500
受託事業収入	314,368,121	298,106,648	16,261,473
収益事業収入	6,813,175	6,768,449	44,726
事業収益計	321,646,356	305,533,222	16,113,134
雑収益			
雑収入	308,023	199,290	108,733
雑収益計	308,023	199,290	108,733
経常収益計	323,029,379	305,910,059	17,119,320
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	31,123,086	23,494,474	7,628,612
福利厚生費	5,758,877	4,883,895	874,982
臨時雇賃金	9,740,476	7,394,116	2,346,360
消耗器具備品費	132,000	0	132,000
消耗品費	2,880,074	2,152,746	727,328
光熱水料費	18,171,450	19,506,895	△1,335,445
印刷製本費	696,184	639,584	56,600
修繕費	8,755,846	9,355,370	△599,524
燃料費	550,283	571,165	△20,882
賃借料	3,597,529	4,392,644	△795,115
諸謝金	59,650	54,000	5,650
保険料	364,160	326,580	37,580
委託費	219,555,270	205,868,103	13,687,167
雑費	53,940	48,024	5,916
租税公課(事)	4,564,200	3,419,000	1,145,200
事業費計	306,003,025	282,106,596	23,896,429
管理費			
役員報酬	176,000	184,800	△8,800
給料手当	6,017,008	14,263,382	△8,246,374
退職給付費用	231,370	0	231,370
福利厚生費	691,412	1,686,969	△995,557
臨時雇賃金	1,014,180	1,009,910	4,270
旅費交通費	9,524	5,368	4,156
交際費	5,000	0	5,000
通信運搬費	497,823	511,708	△13,885
消耗品費	555,805	784,967	△229,162
賃借料	3,203,902	3,002,163	201,739
保険料	81,100	81,100	0
租税公課(管)	1,210,800	1,931,800	△721,000
負担金	259,154	98,800	160,354
委託費	529,760	686,840	△157,080
減価償却費	0	62,480	△62,480
雑費	338,033	380,245	△42,212
管理費計	14,820,871	24,690,532	△9,869,661
経常費用計	320,823,896	306,797,128	14,026,768
当期経常増減額	2,205,483	△887,069	3,092,552
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
退職給付引当資産取崩収入	0	341,176	△341,176
経常外収益計	0	341,176	△341,176
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	341,176	△341,176
税引前当期一般正味財産増減額	2,205,483	△545,893	2,751,376
法人税、住民税及び事業税	664,600	677,000	△12,400
当期一般正味財産増減額	1,540,883	△1,222,893	2,763,776
一般正味財産期首残高	47,439,622	48,662,515	△1,222,893
一般正味財産期末残高	48,980,505	47,439,622	1,540,883
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	348,980,505	347,439,622	1,540,883

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	220,000	220,000	0
普通預金	70,681,759	71,119,677	△437,918
現金預金合計	70,901,759	71,339,677	△437,918
(2) その他流動資産			
未収金	4,306,390	2,035,593	2,270,797
立替金	150,618	150,618	0
その他流動資産合計	4,457,008	2,186,211	2,270,797
流動資産合計	75,358,767	73,525,888	1,832,879
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	200,000,000	200,000,000	0
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) その他固定資産			
退職給付引当預金	4,510,194	4,278,824	231,370
財政調整引当資産積立金	8,660,501	8,541,383	119,118
その他固定資産合計	13,170,695	12,820,207	350,488
固定資産合計	313,170,695	312,820,207	350,488
資産合計	388,529,462	386,346,095	2,183,367
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	31,439,192	32,774,671	△1,335,479
預り金	1,222,971	1,175,978	46,993
未払消費税等	2,376,600	677,000	1,699,600
流動負債合計	35,038,763	34,627,649	411,114
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,510,194	4,278,824	231,370
固定負債合計	4,510,194	4,278,824	231,370
負債合計	39,548,957	38,906,473	642,484
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	0
2. 一般正味財産	48,980,505	47,439,622	1,540,883
正味財産合計	348,980,505	347,439,622	1,540,883
負債及び正味財産合計	388,529,462	386,346,095	2,183,367

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金預金	現 金	手元保管	両替金・運転資金として	220,000
	普通預金			70,681,759
	みずほ銀行稲城中央支店	みずほ銀行 稲城中央支店	運転資金として	68,399,783
	三井住友銀行若葉台支店	三井住友銀行若葉台支店		2,281,976
	現金預金合計			70,901,759
その他流動資産	未収金		受託料等	4,306,390
	立替金		職員に対する雇用保険料本人負担分	150,618
	その他流動資産合計			4,457,008
流動資産合計				75,358,767
(固定資産) 基本財産	基本財産定期預金	大和ネクスト銀行	運用益を公益目的事業の財源として使用	200,000,000
	投資有価証券			100,000,000
	有価証券大和証券1	大和証券	満期目的で保有し、運用益を公益目的事業の財源として使用	100,000,000
	基本財産合計			300,000,000
	特定資産合計			0
その他固定資産	退職給付引当預金		職員に対する退職金の支給に備えるもの	4,510,194
	財政調整引当資産積立金		年度間の財源を調整し財政の安定化に備えるもの	8,660,501
	その他固定資産合計			13,170,695
固定資産合計				313,170,695
資産合計				388,529,462
(流動負債)	未払金		委託料等	31,439,192
	預り金			1,222,971
	社会保険料	みずほ銀行稲城中央支店	預かり社会保険料	331,900
	雇用保険料	みずほ銀行稲城中央支店	預かり雇用保険料	209,797
	所得税額	みずほ銀行稲城中央支店	預かり源泉所得税	183,824
	住 民 税	みずほ銀行稲城中央支店	預かり住民税	272,950
	互助会費	みずほ銀行稲城中央支店	今年度の預かり互助会費	224,500
	未払消費税等			2,376,600
	流動負債合計			35,038,763
	(固定負債)	退職給付引当		
固定負債合計			4,510,194	
負債合計				39,548,957
正味財産				348,980,505

財務諸表の注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
固定資産の減価償却は、定額法により減価償却を行っている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、職員の退職金の支給に備えるため、自己都合退職による期末要支給額を計上している。過去勤務債務は、発生した事業年度に全額費用処理している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
基本財産投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
合 計 (基 本 財 産)	300,000,000	0	0	300,000,000
その他固定資産				
退職給付引当預金	4,278,824	231,370	0	4,510,194
財政調整引当資産積立金	8,541,383	119,118	0	8,660,501
器具備品	0	0	0	0
合 計 (特 定 資 産)	12,820,207	350,488	0	13,170,695

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	200,000,000	(0)	(0)	(0)
基本財産投資有価証券	100,000,000	(0)	(0)	(0)
合 計 (基 本 財 産)	300,000,000	(0)	(0)	(0)
その他固定資産				
退職給付引当預金	4,510,194	(0)	(0)	(4,510,194)
財政調整引当資産積立金	8,660,501	(0)	(8,660,501)	
器具備品	0	(0)	0	
合 計 (その他固定資産)	13,170,695	(0)	(8,660,501)	(4,510,194)

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	0	0	0
合 計	0	0	0

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 (単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 東京都公募公債第777回	100,000,000	97,500,000	-2,500,000
合 計 (基 本 財 産)	100,000,000	97,500,000	-2,500,000

7 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

給与規程に基づく退職一時金制度と中退共制度を採用している

給与規程に基づく給付額から中退共から支給される給付額控除した金額を当法人より支給する。

中退金掛金360,000円は管理費の福利厚生費に計上している。

(2) 退職給付債務に関する事項

①退職給付債務 17,453,220

②中退共給付額 12,943,026

退職給付引当金 4,510,194

(3) 退職給付費用に関する事項

退職費用に費用に計上した額は以下のとおり。

①期首期末の引当金差額 231,370

②退職金支払額 0

退職給付費用 231,370

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたり、簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から、中退共給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上している。

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」に記載してあるため省略する。

2 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、未収金・未払金及び立替金・預り金、退職給付引当預金、財政調整引当資産積立金、器具備品、未払消費税、退職給付引当金を含んでいる。

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高	備 考
現 金 預 金	71,339,677	70,901,759	普通預金残高等
未 収 金	2,035,593	4,306,390	受託収入等
立 替 金	150,618	150,618	労働保険料概算等
退職給付引当預金	4,278,824	4,510,194	
財政調整引当資産積立金	8,541,383	8,660,501	
器 具 備 品	0	0	
合 計	86,346,095	88,529,462	
未 払 金	32,774,671	31,439,192	委託費、賃借料、電気料等
預 り 金	1,175,978	1,222,971	所得税、社会保険料等
未払消費税等	677,000	2,376,600	消費税・法人税等
退職給付引当金	4,278,824	4,510,194	
合 計	38,906,473	39,548,957	
次期繰越収支差額	47,439,622	48,980,505	

監査報告書

令和8年5月12日

公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団

理事長 石田光広 殿

公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団

監 事 岩 藤 真 実

私、監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私、監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（２）計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。